



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

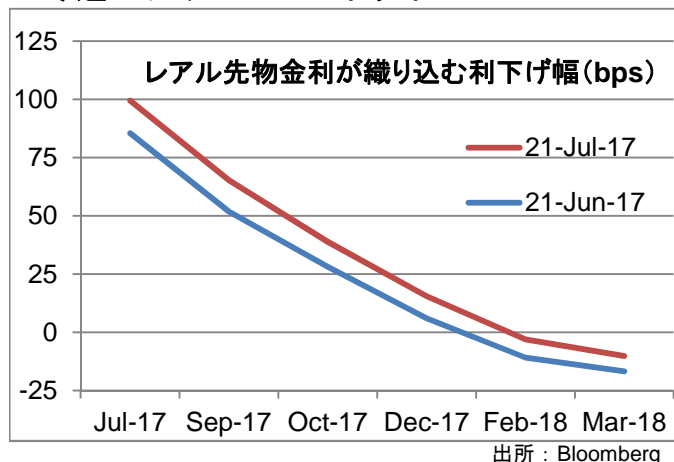
			7月17日	7月18日	7月19日	7月20日	7月21日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1820	3.1570	3.1490	3.1210	3.1430	+0.0220
	BRL/JPY	Spot	35.39	35.51	35.55	35.85	35.37	-0.48
	EUR/USD	Spot	1.1477	1.1555	1.1515	1.1631	1.1663	+0.0032
	USD/JPY	Spot	112.62	112.05	111.94	111.88	111.13	-0.75
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.60	8.58	8.54	8.46	8.48	+0.0209
	Future	1Year(p.a.)	8.43	8.40	8.35	8.29	8.30	+0.0069
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.219	2.203	2.175	2.119	2.122	+0.003
	USD	1Year(p.a.)	2.357	2.330	2.309	2.306	2.306	u.c.
株式	Bovespa指数		65,212.31	65,337.67	65,179.92	64,938.02	64,684.18	-253.84
CDS	CDS Brazil 5y		221.58	221.54	216.24	211.14	211.24	+0.10
商品	CRB指数		175.879	176.878	178.656	178.398	176.661	-1.736

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは上昇。テメル大統領の汚職隠蔽疑惑が浮上した5月18日以降の下げを消す展開。
- 週初のレアルは3.1800で寄り付いた。17日に発表された中国の第2四半期GDPが予想を上回り、他の新興国通貨と同様に週初から底堅く推移した。その後、米共和党がオバマケア代替法案について上院での早期採決を断念。トランプ政権による経済政策への期待感が後退したことでレアルは3.15台へ上昇。週後半にはトランプ大統領のロシア疑惑捜査拡大を巡る報道から3.11台まで続伸した。週末にかけて週間高値となる3.1120をつけ、結局3.1430で越週。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.34%、2018年が2.00%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.38%から3.29%へ、2018年は4.24%から4.20%へ下方修正。為替レートは2017年末が3.35から3.30へレアル高方向に修正されたが、2018年末は3.45で据え置かれた。
- 伯政府は20日、燃料に関する増税(Pis/Cofinsの引き上げ)を発表した。約100億レアルの増収増加となる見込み。政府は2017年度の財政目標について、赤字幅を1,390億レアル以内に収めるとしている。なお、本件による国内インフレ指標への影響は限定的と見られている。
- 堅調なレアル相場を受け、市場では伯中銀がドル売りスワップポジションのロールオーバー金額を見直すとの観測が出ているが、引き続き1日あたり4.15億ドルのロールオーバーを継続している。
- 伯議会は18日から2週間の予定で休会入りした。再開は8月1日であり、テメル大統領起訴を巡る下院議会の動きは小康状態となっている。

3. 今週のチャート&ハイライト



インフレ低下を受けてレアル先物金利が低下

来週25、26日にCOPOMを控え、市場では伯中銀による利下げ幅が1.00%で維持されるとの見方が強まっている。今週20日に発表された7月のインフレ率(IPCA-15)は前月比▲0.18%、前年比+2.78%と予想を下回った。引き続き農作物やガソリンなどが低下を主導し、伯中銀・財務省が設定する目標レンジ(3.0%–6.0%)を割り込む水準へ低下。伯中銀は前回5月のCOPOMにおいて経済改革の先行きについて不確実性が増しているとして利下げ幅の縮小を示唆していたことから、市場では0.75%へ縮小されるとの見方が強まっていたが、市場は敏感に反応しており、直近の金利先物市場では1.00%の利下げが織り込まれている。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10—3.20

来週のレアルは堅調な動きを予想する。伯議会は8月1日まで休会となるため国内の政治面では大きな動きが出にくい状況。一方、トランプ政権を巡る報道や低インフレ長期化への懸念からドルは軟調な動きが続くと見られる中、レアルは底堅い動きが見込まれる。来週は25、26日にCOPOMが開催予定。前回5月の会合では利下げ幅の縮小が示唆されたが、市場はインフレ低下を受けて1.00%の利下げ幅が維持されることを織り込む動きとなっており、ドル売りポジションのロールオーバーと共に伯中銀の判断に注目したい。なお、米国サイドでも25、26日にFOMCが開催されるが、今回の会合は記者は行われず声明文の公表のみであり、大きな政策変更は無いと見られる。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	経常収支	\$1400m	\$1330m	\$2884m
ブラジル	海外直接投資	\$2500m	\$3991m	\$2926m

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/24	Federal Debt Total	Jun	--	3253b
ブラジル	7/25	FGV建設コスト(前月比)	Jul	0.19%	1.36%
ブラジル	7/25	FGV消費者信頼感	Jul	--	82.3
ブラジル	7/26	SELICレート	Jul/26	9.25%	10.25%
ブラジル	7/26	CNI Consumer Confidence	Jul	--	100.5
米	7/26	FOMC政策金利(上限)	Jul/26	1.25%	1.25%
ブラジル	7/27	PPI 製造業(前年比)	Jun	--	2.12%
ブラジル	7/27	ロソ残高(前月比)	Jun	--	-0.2%
ブラジル	7/27	個人ローンデフォルト率	Jun	--	5.9%
ブラジル	7/27	中央政府財政収支	Jun	-17.7b	-29.4b
ブラジル	7/28	FGVインフレーション(GPM)(前年比)	Jul	-1.58%	-0.78%
ブラジル	7/28	全国失業率	Jun	13.4%	13.3%
ブラジル	7/28	Nominal Budget Balance	Jun	-32.0b	-67.0b
ブラジル	7/28	純債務対GDP比	Jun	48.3%	48.1%
米	7/28	GDP(年率/前期比)/速報値	2Q	2.5%	1.4%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。